

■「バッタのジャンプ大会」

日時／平成 26 年 9 月 20 日(土) 10:00~12:30

場所／長柄橋南詰 淀川河川公園 天候／曇り

スタッフ／6 名

参加者／大人 5、子供 5 名 合計 10 名

観察内容／1週間前はいい天気で、河川敷に入るとバッタがたくさん飛び出していたのですが、前日から天気が曇りがちになり、観察会当日は気温も低く、バッタの動きが鈍い一日でした。

まず、参加者は最初の 45 分間、河川敷の草原でバッタを採集。トノサマバッタ、クルマバッタモドキ、マダラバッタ、ショウリヨウバッタ、オンブバッタ、アカハネオンブバッタの 6 種類が見つかりました。バッタ以外では、ヒメギス、ツユムシ、ホシササキリ、エンマコオロギが見つかりました。



ジャンプ大会で一番遠くまで飛んだのはトノサマバッタの♀で 18.9m でした。マダラバッタで一番遠くまで飛んだのは 7.2m ですから、やはりトノサマバッタはよく飛びます。採集したバッタの名前や見分け方などの説明の後、表彰式をおこない表彰状とメダル、お土産を渡して解散しました。

ところで、草原で変なものをスタッフが見つけた。マダラバッタとショウリヨウバッタが、草の茎につかまったまま、死んでいました。エントモファガ・グリリという糸状菌に犯されたバッタは



茎の高いところまで登り、そこで、しっかりと茎をつかんだまま息絶えるそうです。バッタに取りついた菌は孢子を遠くまで飛ばせるように高い所にバッタを誘導するそうです。なんだか、ぞっとする話ですね。